
社会教育に関するアンケート調査

報告書

平成 26 年 10 月

松 戸 市

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 調査の内容	3
4. 回収状況	3
5. 報告書の見方	3
II 単純集計結果	5
III 回答者の属性	21
1. 性別	23
2. 年齢	23
3. 職業	23
4. 勤務先・通学先	23
5. 松戸市の居住年数	24
6. 世帯構成	24
7. 小学生から中学生の子ども	24
8. 地区	24
IV 調査の結果	25
1. 生涯学習活動に対する考え方について	27
(1) 生涯学習活動の意義	27
(2) 生涯学習活動の内容	31
(3) 生涯学習活動の方法	35
(4) 生涯学習活動をしなかった理由	39
(5) 生涯学習活動に取り組もうとする際に優先すること	43
(6) 今後、学びたいこと	47
2. 生涯学習活動に関する情報について	51
(1) 生涯学習活動に関する情報の入手方法	51
(2) 生涯学習活動に関して知りたい情報	55
3. これからの生涯学習活動における現状や課題について	60
(1) 生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能、経験の生かし方	60
(2) 地域の学習環境を充実させるために必要なこと	64
(3) 生涯学習事業について、市に力を入れてほしいこと	69
4. 地域の子どもたち（青少年）に対する考えについて	74
(1) 地域の子どもたちに望む放課後や休日の過ごし方	74
(2) 放課後や休日に小中学生が地域の人と生涯学習活動をするのにふさわしい場所	78
(3) 子どもの活動場所に求めること	81

(4) 地域の住民と小中学生とがつながる機会	83
(5) 地域、学校、家庭が連携して小中学生の学びを支援することで期待できる効果	86
(6) 小中学校でのボランティア活動の参加	89
(7) 学校のボランティア活動に参加しなかった理由	91
(8) 興味がある小中学校のボランティア活動	94
5. 松戸市の図書館について	97
(1) 図書館の利用頻度	97
(2) 図書館を利用しない理由	101
(3) 図書館を利用する目的	106
(4) 図書館に望むこと	109
V 松戸市に対する意見・要望（自由記載）	115
添付資料：調査票	129

I 調査の概要

1. 調査の目的

松戸市では「松戸市社会教育計画」の策定の準備を進めています。

本調査は、生涯学習や社会教育の現状やニーズ等について把握し、この計画を策定するための基礎資料とすることを目的として実施したものです。

2. 調査の設計

- (1) 調査対象 松戸市に居住する 20 歳以上の男女個人
- (2) サンプル数 3,000 人
- (3) 抽出方法 層化無作為抽出
- (4) 調査の方法 郵送調査法
- (5) 調査期間 平成 26 年 6 月 18 日～7 月 9 日

3. 調査の内容

- (1) 生涯学習活動に対する考え方について
- (2) 生涯学習活動に関する情報について
- (3) これからの生涯学習活動における現状や課題について
- (4) 地域子どもたち（青少年）に対する考えについて
- (5) 松戸市の図書館について

4. 回収状況

- サンプル数 3,000
- 有効回収数 1,583
- 有効回収率 52.8%

5. 報告書の見方

- (1) 調査結果の数値は原則として回答率（％）で表記している。回答率（％）の母数は、その質問項目に該当する回答者の数であり、n=と表記している。また、複数回答についても回答者の数としている。
- (2) 集計は、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表記してある。このため、各回答率（％）を足し上げても 100.0％とならない場合がある。
- (3) 分析の軸としたプロフィールや設問は、無回答を除いているため、各プロフィールの基数の合計が全体と一致しない場合がある。
- (5) グラフや表のタイトルなどは、なるべく調査票そのままの表現を用いているが、スペースなどの関係から一部省略した表現としている箇所がある。
- (6) 回答者数が 30 未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

【標本誤差について】

調査結果の比率から母集団（20歳以上の市民全体）の傾向を推測するには、統計上の誤差（標本誤差）を考慮する必要がある。この誤差は回答者数と各設問の回答の率から、以下の式により求められる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数
 n = 比率算出の基数 (サンプル数)
 p = 回答の比率

各回答比率における標本誤差早見表（信頼度 95%）

回答の比率 (p) 基数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,586人	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.4%	± 3.5%
1,400人	± 2.2%	± 3.0%	± 3.4%	± 3.6%	± 3.7%
1,200人	± 2.4%	± 3.2%	± 3.7%	± 3.9%	± 4.0%
1,000人	± 2.6%	± 3.5%	± 4.0%	± 4.3%	± 4.4%
800人	± 2.9%	± 3.9%	± 4.5%	± 4.8%	± 4.9%
600人	± 3.4%	± 4.5%	± 5.2%	± 5.5%	± 5.7%

【早見表の見方】

たとえば、今回の調査の回答者数（1,583人）を100%とする比率で、ある質問の回答が50%であった場合、松戸市（満20歳以上の男女）のこの質問に対する回答は、46.5%～53.5%の間にあると考えられます。